

東京大学が挑戦した 高齢社会に関する教育

東京大学では、超高齢社会の諸課題を解決する大学院生の育成を目標に、「活力ある超高齢社会を共創するグローバルリーダー養成プログラム(GLAFS)」に、6年間にわたり、取り組んできました。今回は、このGLAFSの教育活動を振り返り、次世代を担う大学院生の教育プログラムのあり方について、教員と学生の間での意見交換を行います。

日時

令和2年 **3月7日(土)**
9時30分～17時(受付:9時より)

会場

東京大学本郷キャンパス
工学部2号館1階・大講堂

入場無料

【プログラム】

9:30～11:45

午前の部「共同研究成果報告会」

- Age-Friendly Workplace の実現に向けて
- 要介護期における高齢者の在宅療養生活の継続要因
－要介護100スタイル－
- 要介護になっても暮らし続けられるバリアフリー改修マニュアルづくり
- 高齢者のQoL向上のためのコミュニティ活動の調査とデザイン
- 高齢者支援技術のデザイン指針や導入方策を導くためのニーズ・現状調査

13:30～17:00

午後の部「分野横断的教育プログラムを考える」

ミドル・セッション：GLAFSを振り返る

- GLAFSの紹介、活動/成果報告
- 修了生と在学生による発表：今後の教育活動に期待すること

パネルディスカッション

パネリスト

熊田孝恒 (京都大学教授)
関根千佳 (同志社大学・放送大学客員教授)
原田昇 (東京大学教授 / IOG 機構長)
飯島勝矢 (東京大学教授 / IOG 副機構長)
コーディネーター
後藤 純 (東京大学 IOG 特任講師)



事前登録

Eメール：glafs-event@iog.u-tokyo.ac.jp

FAX：04-7136-6677

お申し込みの際、お名前・ご所属・ご連絡先(電話番号、メールアドレス)・希望時間帯(午前のみ・午後のみ・全てに出席)をご記入ください。

申込期限：令和2年 **3月5日(木)**まで

お問い合わせは、上記のEメールアドレスまたはFAXまでご連絡ください。

【主催】

東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG)

博士課程教育リーディング・プログラム

「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」(GLAFS)

プログラムの詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp> もしくは <http://www.glafts.u-tokyo.ac.jp>

会場

東京大学本郷キャンパス 工学部2号館・大講堂



東京大学 本郷キャンパスアクセスマップ
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html

事前登録申込用紙

お名前

ご所属

お電話番号

FAX

Eメールアドレス

ご出席の時間帯 (該当に○印)

午前

・

午後

・

午前午後すべてに出席

申込期限：令和2年3月5日(木)まで

FAX番号：04-7136-6677

